

矢部清流学園

学校だより 11 号



善遊善学

学校教育目標 ふるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な体を持ち、共に伸びる
児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「総がかりの教育」の推進～

重点目標 自分の思いや考えを仲間とつなぎ、広げていく子どもの育成
～ つなごう・広げよう ～

令和4年11月25日 文責 古川 志乃

矢部まつり開催 浮立公開 !!

11月19日(土)、20日(日)感染対策を施しながら、3年ぶりに矢部まつりが開催されました。紅葉に彩られた矢部に、木挽き唄や浮立の笛、太鼓、鐘の音、口上やはやし手の元気なかけ声が響き渡りました。矢部の方々の浮立に込める熱い思い、長きに渡って先輩方が受け継いでこられた強い思いを感じ取り、練習を積み重ねてきましたが、多くの方々に、その成果を披露できたことを嬉しく思います。ご指導いただいた浮立保存会の皆様、本当にありがとうございました。

また、矢部まつり会場にて、後期課程の生徒はボランティア活動(八女市社会教育課 Yabe ちゃり teen's 講座生の活動)で受付や清掃活動、イベントの手伝いを積極的に行っていました。矢部まつりを支えるスタッフの一員として、しっかり働いており頼もしく思いました。5・6年生も授業(地域学校協働活動)で栽培した椎茸を販売(「おいしいたけ」と名付けて販売→即完売!)しましたが、子ども達の明るく元気な声が矢部まつりを更に活気づけていました。

練習したことを生かして、声や動作を大きくすることを目標としていた。本番前にたくさんの人から応援していただいたので、あまり緊張せずに演技することができた。これまでの練習で、保存会の方々に教えていただいたことを一つ一つ思いだしながら、ミスすることなく最後までやれたので良かった。終わった後、「感動して涙が出てきた!」と言ってくださった方がいて、うれしかったし、達成感を感じた。これからも、機会があれば、浮立などの矢部の伝統芸能に関わっていきたいと思った。(真法師役 9年 琴羽さん)

つなごう

広げよう

はじめの言葉は緊張したけれど、ゆっくり落ち着いて話すことができて良かった。たくさんの方が来られていたし、日差しがまぶしいくらいだったのでうれしかった。また、たくさんの方がインタビューに答えて下さったから、最後の浮立新聞作成は、みんなに分かりやすく伝えることができるよう努力したい。来年も、是非見に来たい。(広報担当 9年 満さん)

12月4日(日)～12月10日(土) 人権週間

11月29日(火)PTA 家庭教育学級(性の多様性についての講演会)

1948年12月10日、全ての人と全ての国とが達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」が採択されました。依然として存在するいじめや虐待、インターネット上での人権侵害、感染症や障害等を理由とする偏見や差別...これらの問題を解決し、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に掲げる「誰一人取り残さない」社会を実現するには、私たち一人一人が人権意識を高め、他人の人権に配慮した行動をとることが大切です。

【PTA 家庭教育学級】

11月29日(火)「性の多様性についての講演会」講師:小野アンリさん 会場:矢部清流学園 木龍
14:10～15:10(善学科児童生徒・教職員・保護者対象) 15:20～16:00(教職員・保護者対象)

これからの自分の考えや生き方につながる貴重なお話が聞けます!

たくさんの参加をお待ちしています!!

